

# 文書館だより

Fukui Prefectural Archives



▲学校給食20周年記念大会（鯖江市神明小）1967年（昭和42）当館蔵（62980）

## 第23号 目次

特集 大学教育との連携のあゆみ .....	2
月替展示紹介（平成27年11・12月）	
つづられた“希望”～少年たちの戦中・戦後～ .....	4
歴史的公文書紹介	
「夢の農園」～坂井北部丘陵営農計画～ .....	6
寄贈資料紹介 .....	7
お知らせ .....	8

第23号

2015.11

福井県文書館

# 大学教育との連携のあゆみ

文書館では福井大学教育地域科学部と連携し、社会科教員を志望する学生を対象に資料の調査方法や活用方法などを体験的に学習する地域史実践研究プログラムを行っています。2010年度から始まり、今年度で5回目を迎えました。

## 地域史実践研究プログラムの主な流れ

### ①福井の歴史資料に触れる

文書館の活用方法やデジタルアーカイブの使い方について学びます。また、福井県史の記述の根拠となる資料を確認したり、古文書の日録作成などを体験します。



### ②資料を活用した調査研究

興味のある分野などを話し合い研究テーマを決定します。テーマに基づき資料の収集や読解を進め、発表準備を行います。



### ③発表

福井県立図書館でのポスターセッションや福井県内の高校に出向いての発表など、さまざまな形で展示発表を行います。



## 過去の研究テーマ

2010年度 「入試と文集で見る武生高等女学校」「武生・鯖江の鉄道史」

2011年度 「地域史料にみるふくい震災記録」

2013年度 「わかるかな？昔の中学入試問題」

2014年度 「いつから始まった!? 福井の修学旅行」

## 今年度(2015年度)の取り組み

5名の学生が文書館に来館し、活動中です。今年度のテーマは江戸時代の御仕置き…。福井藩の公事方御定書や文書館で毎年刊行している藩士履歴などをもとにして江戸時代の福井の刑罰や罪について調査研究中です。

2015年11月下旬にポスターセッションで研究成果を展示発表します。



▲「公事方御定書」松平文庫  
福井県立図書館保管

## 体験をつうじて得たもの

### 学生の声

この地域史実践研究プログラムを受講するまで、文書館がどのような施設なのかよく知りませんでした。しかし、このプログラムを通じて文書館には福井についての様々な資料があることを知りました。またデジタルアーカイブを活用した資料検索の方法も充実しており、膨大な資料の中から自分が必要とする資料を探す手段を学ぶことができました。そして歴史的公文書や古文書に触れる機会をいただけたことも貴重な体験だと思います。今後の大学での卒業論文の作成にもこの地域史実践研究プログラムを通して学んだことを活かしていきたいと考えています。

福井大学 教育地域科学部 上野 仁士

### 先生からのエール

入門段階、もしくはそれ以前の段階の古文書読解能力の学生が参加するプログラムです。そうした学生たちが、実際に埃にまみれて破れそうな古文書を目にしたときの驚き、多少なりとも内容が理解できたときの嬉しそうな表情は実に新鮮です。同時に、教材を教えることを重点的に学んでいる彼ら、彼女らには、史料というものは期待通りに存在するのだ、という思い込みがありますが、史料の稀少さや史料を探すことの大変さに気づくことで、歴史を学ぶ楽しさを実感する反面、歴史を教えることの本当の難しさを痛感しているようです。

福井大学 教育地域科学部 教授 木村 亮  
(文書館記録資料アドバイザー)

福井県文書館では地域の生きた教材として、資料（公文書・古文書など）を学校教育現場に提供していきたいと考えています。大学でのゼミ合宿などに文書館をご活用ください。

## 月替展示紹介（平成27年11・12月）

# つづられた“希望” ～少年たちの戦中・戦後～

戦中の子どもたちは、戦時色が濃いものに囲まれ、限られた“希望”しかもてませんでした。一方、戦後の子どもたちは、文化的なものに囲まれ、多様な“希望”をもつことが可能になりました。

今回の展示では、戦中・戦後に少年たちがつづった日記や文集、身の周りの教科書や遊び道具・写真などを通して、それぞれの時代の少年たちが将来にどのような“希望”をもっていたかを考えます。

### 少年たちの身の周りは…

#### 【戦中】

##### ●戦中の教科書

戦時下の国民学校で使われていた国定教科書（文部省が著作した教科書）です。「皇国」を守る心構えや、戦争に備える力を養うための教材でした。全教科にわたって、軍国主義的な内容が盛り込まれています。



▲『初等科国語』1942年（昭和17）  
『テホン』1941年（昭和16）  
『ヨイコドモ』1941年（昭和16）  
坪田仁兵衛家文書（当館寄託）C0005-01458、02010、01879

##### ●戦中の遊び道具、雑誌

戦時体制の下、学校で軍国主義教育が行われている中、双六などの遊び道具や雑誌も、軍国少年少女を育てる「教材」として作られました。



▲『テキヂンセンリャウ双六』1938年（昭和13）  
坪田仁兵衛家文書（当館寄託）C0005-02084  
『コドモバナシ』1943年（昭和18）  
福井県立歴史博物館蔵

#### 【戦後】

##### ●戦後の教科書

敗戦直後、戦中の教科書の軍国主義的な部分を削除した「墨塗り教科書」が使われました。『あたらしい憲法のはなし』は、国際平和主義などについて解説しています。昭和24年に、それまでの国定教科書から検定教科書に変わりました。



▲『初等科国語』復刻版 個人蔵  
『小学新習字』1951年（昭和26） 福井県立歴史博物館蔵  
『あたらしい憲法のはなし』1948年（昭和23） 個人蔵

##### ●戦後の遊び道具、雑誌

双六の題材は、戦時色が濃いものから、娯楽性があるものになりました。

雑誌には、野球や宇宙に関するものなど、幅広い題材が使われています。



▲『宇宙探検早回りすごろく』1957年（昭和32）  
坪田仁兵衛家文書（当館寄託）C0005-02093  
『少年』1948年（昭和23） 福井県立歴史博物館蔵

## 少年たちの“希望”は…

### 【戦中】

#### ●戦中の少年の日記

国民学校5年生の少年が書いた日記です。先生が出征する際に見送りや慰問をしたこと、神社参拝や皇室関係の行事に真剣に取り組んだようすなどが書かれています。戦時体制の中で、自分ができることを精一杯行っていたことが読みとれます。



▲「小学生日記」1941年（昭和16）  
坪田仁兵衛家文書（当館寄託）C0005-02343

#### ●戦中の中学校の文集

戦中の福井中学校（現・藤島高校）の文集です。冒頭には、「米英撃滅」などの誓いの言葉があります。戦争関連の作品がほとんどで、愛国心の在り方や、戦争に勝つために勉学に励み、身を挺していく決意などが述べられています。



▲『明新』聖戦完遂決意号 1943年（昭和18）  
坪田仁兵衛家文書（当館寄託）C0005-01394

### 【戦後】

#### ●戦後の少年の日記

中学生の少年が1年生から3年生まで書いた日記です。勉強や農業の手伝いを熱心に行っているようすや、映画や本、ラジオなど、多様な文化に触れていることがわかります。3年次の新年の頁には、「高校に入学したいから勉強をがんばりたい」という抱負がつつられています。



▲「Diary note」1951年（昭和26）～1954年  
野尻喜平治家文書（当館蔵）I0076-01173

#### ●戦後の中学校の文集

福井中学校の文集『明新』は戦争一色の内容から幅広い題材に変わりました。

『希望』は、戦後に県下の中学生の手で、学校の垣根を越えて作られた文集です。貧しい状況の中、自らが平和日本・文化日本建設に尽力していく決意や、自由や学びの意義などが記されています。



▲『明新』昭和21年秋季号 1946年（昭和21）  
『希望』創刊号、6・7月合併号 1946年、1947年  
坪田仁兵衛家文書（当館寄託）C0005-02396、02250、02418

その他、戦中・戦後の学校で配布されたもの、写真パネルなども、平成27年10月23日から12月23日まで展示しています。

皆さまの御来館を心よりお待ちしております。

昭和56年栽培面積、家畜飼育状況

作物名	面積	作物名	面積	畜種	頭羽数
すいか	203 ha	かんしゅ	52 ha	乳用牛	455頭
メロン	48 #	ばれいしょ	66 #	肉用牛	510羽
だいこん	175 #	たばこ	82 #	採卵鶏	207,800羽
はくさい	30 #	飼料作物	88 #	ブロイラー	312
キャベツ	33 #	梨	60 #	繁殖豚	58頭
にんじん	9 #				

## ◆◆◆歴史的公文書紹介◆◆◆ 「夢の農園」～坂井北部丘陵営農計画～

福井県の特産品として、福井すいかやメロンなどは多くの人に知られているところです。これらの特産品は、福井県最北部に位置するあわら市、坂井市にまたがる丘陵地の広い畑を利用して栽培されています。

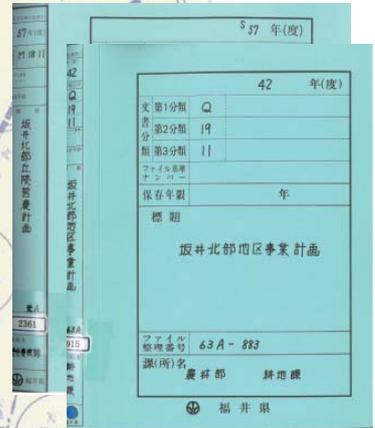
いくつかの歴史的公文書を見ますと、この地での果樹の栽培や畜産が、今日に至るまでいかに壮大な目標と計画、それに向けての多大な時間と労力に裏付けられてきたかを感じることができます。

さかのぼること昭和37年。そこから国が始めた多目的ダム関連と土地改良関係の調査が5年後完了し、昭和42年に国の北陸農政局より「坂井北部地区事業計画の概要」が示されています。この計画では、坂井郡の三国、芦原、金津3町にまたがる丘陵地帯の開発に目を向けられました。

当時、この一帯約2500haの広大な土地は、約1/3を山林が占め未墾地が多く、残りを水田と畑で面積をほぼ2分していました。計画では、この土地を開墾し、水田だけでなく果樹や野菜、飼料用牧草地として利用すること、さらに農業の経営を改善していくことが盛り込まれています。また、県が計画を立てる際の基本的な考え方として、各種事業を取り入れて総合的に開発することや、栽培や家畜飼育など営農形態ごとに団地を作ること、観光地帯との関連を考慮することなども示されています。その計画の壮大さと託された想いは、当時の担当者が、「夢の農園」と資料にメモ書きをしていることに全て表れているようです。

福井県は、この計画を受けて、4年後の昭和46年に、完工昭和60年を目途とし開発事業に着工しました。農地造成、区画整理、用排水事業を総合的に進め、遠く九頭竜川鳴鹿大堰から導水して用水を確保し、経営規模の拡大、大型機械化営農体系の確立をはかりました。ところが、完工を前にして問題点が挙げられます。昭和57年作成の公文書「坂井北部丘陵営農計画」を見ますと、当時主要作目の生産性や土地利用が低いこと、中核農家数が約10%と少ないことなどが挙げられています。そして、それに対する対応策が示され、昭和65年を目標に新たな計画指標が策定されています。

このように、長い年月を掛けて、「夢の農園」の実現に向けて、多大な努力が続けられてきたことがわかります。



▲「坂井北部地区事業計画」  
耕地課（1967年度）915  
「坂井北部丘陵営農計画」  
総合農政課（1982年度）2361



▲坂井北部丘陵地プリンスメロン  
1981年 71006

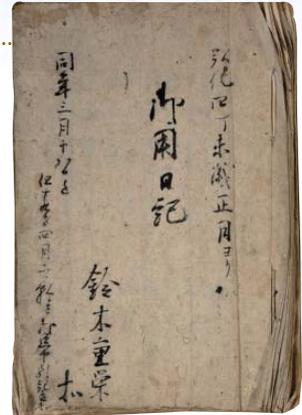
## ◆◆◆寄贈資料紹介◆◆◆

複製本ができたものから公開しています。

### ◆宮崎長円家文書(A0180)

寄贈資料は収集資料など42点です。2つの系統があり、一つは、越前松平家の家臣中根鞆負の子孫や鈴木主税の縁戚に伝わった「御用日記」、春嶽和歌、同漢詩などの資料です。もう一つは、戦時下に宮崎長円が軍医であった時期に入手した、南京攻略の際の脇坂部隊関連資料、乃木希典・山県有朋・頭山満らの書などです。

「弘化四丁未歳正月ヨリ同年三月十八日迄 御用日記」▶  
A0180-00001

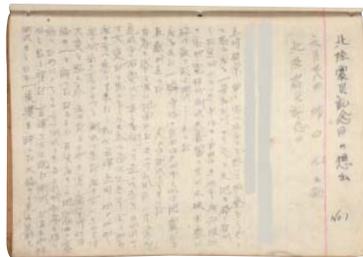


### ◆義江市郎右衛門家文書(A0181)

義江家は足羽川下流左岸の東郷二ヶに位置します。義江家の先祖は朝倉氏の家臣で、主家敗亡の後、東大味に潜伏し、数代を経て東郷村に移り、染物屋を営んだとされます。庄屋などの村役を務め、代々市郎右衛門と称しました。寄贈資料は明治から昭和戦前期の写真や借用証文、香典帳など91点です。



▲「集合写真、松下常次郎他約200名、建物前」  
A0181-00003



▲「(福井地震体験日記)」  
A0193-00001

### ◆岩井正文書(A0193)

岩井正氏は福井市在住で、福井震災を体験しました。寄贈資料は、福井震災当時の日記1冊と、日記を元に自費出版した本の元原稿の2点です。

### 表紙写真 「学校給食20周年記念大会 (鯖江市神明小)」

1967年(昭和42) 当館蔵 (62980)

福井県の学校給食は、1932年(昭和7)から実施されてきましたが、対象は一部の生徒に限られていました。1947年に「福井県学校給食委員会規定」が定められ、戦災をうけた福井・敦賀の国民学校で学校給食が開始されました。以後、県内の各小学校で実施され、児童の健康維持に大きく寄与しました。写真は、学校給食20周年記念大会が行われた鯖江市神明小学校の学校給食のようすです。



## 文書館講座のご案内

### ■フィアラ先生の世界をつなぐゼミナール

- 平成28年 1月23日(土) 13:30~15:00  
「ヤマトタケルの物語」(仮)
  - 平成28年 3月5日(土) 13:30~15:00  
「古事記と古代日本語の魅力」(仮)  
講師：カレル・フィアラ  
(文書館副館長、福井県立大学名誉教授)
- 会場：文書館研修室  
定員：40名(要事前申込)

### ■<sup>アーカイブズ</sup>専門講座「ふくいの歴史資料を読み解く」

- 平成28年 2月20日(土) 13:30~15:00  
「中世若越の日本海海運」(仮)  
講師：松浦 義則 氏(福井大学名誉教授)
- 会場：図書館多目的ホール  
定員：70名(要事前申込)  
※問い合わせ・申込みは文書館まで。

## 叢書発刊予定のお知らせ

今年度の『福井藩士履歴』4 福井県文書館資料叢書12は、平成28年3月末ごろ発刊予定です。既刊に続く「た〜ね」の準備を進めています。

既刊資料叢書と同様に、希望者には文書館閲覧室あるいは送料実費負担にて配布します。

## ご利用案内

### ■ 開館時間

午前9時から午後5時まで

### ■ 休館日

月曜日(休日は除く)  
休日の翌日(土、日、休日は除く)  
文書等点検期間(年間10日以内)  
年末年始(12月28日~1月4日)  
清掃整理日(12月以外の第4木曜日、休日の場合は翌日)

### ■ フレンドリーバス(無料)をご利用ください。



## 編集後記

文書館だより第23号をお届けします。今号では大学教育との連携のあゆみを集めました。今後とも文書館に親しみをもって利用していただくために、さまざまな取り組みを行っていきます。



## 文書館だより Fukui Prefectural Archives 第23号

2015年(平成27)11月17日発行

編集・発行／福井県文書館

〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891

ホームページアドレス <http://www.library-archives.pref.fukui.jp>

電子メールアドレス [bunshokan@pref.fukui.lg.jp](mailto:bunshokan@pref.fukui.lg.jp)



健康長寿の福井